（令和 7 年度）　1年間のクラス自己評価　【 松 組　4 歳児 】　大月保育園

養護	【生命・情緒】 この1年間、心身ともに大きく成長する4歳児の発達段階を踏まえ、一人ひとりの健康状態や情緒の安定に配慮しながら保育を行ってきました。自立心が芽生える一方で甘えや不安が表出する場面もあり、その都度気持ちを受け止め安心して過ごせる環境づくりを心がけました。 何事も個人差を踏まえながら無理なく進めることを大切にしてきましたが、援助のタイミングや声かけについてはまだ工夫できる点もあると感じています。
教育	【健康・人間関係・環境・げんご・表現】 友達との関わりを通して人間関係の基礎が育つよう、特に"思いやり"について話してきました。年度はじめは自分の思いを優先しぶつかり合う姿もありましたが、経験を重ねる中で相手の気持ちに気づこうとしたり、どうしたらいいかを一緒に考えようとする姿が増えてきました。また、行事や集団遊びを通して仲間と協力する楽しさを感じられるようになり、互いに声をかけ合う姿や思いやりのある言動も見られるようになってきました。友達との関係の中で葛藤を経験しながらも、自分の気持ちを言葉で伝えようとする力が育ってきたことは大きな成長であったと感じています。 生活の中での自信がついてきたことも特に感じています。失敗を恐れなくなったり、自分から挑戦しようとすることが増えたり、困りごとがあった時に自分の言葉で伝えられるようになってきました。
食育	食事を楽しむ気持ちを大切にしながら基本的な食習慣も定着してきました。 配膳や片付けにも主体的に関わり、「食べてみよう」とする姿勢も少しずつ育っています。 食事マナーの定着には個人差があり、姿勢を正すこと、お箸や箸の持ち方、ひじをつかないこと等、日々声かけしながら意識できるように関わっています。 よく噛んで食べる大切さも理解し、繰り返し伝える中で食材の味や食感を感じながら食べようとする姿も見られるようになりました。前歯で噛みちぎること、奥歯でよく噛むことが当たり前にできるよう、今後も「噛む力」を育んでほしいです。 クッキングやアンパンマンカレー、行事食も喜び、食べることの楽しさも広がりました。
その他	来年度はいよいよ年長児。就学を見据えながらも「楽しい」「やってみたい」という気持ちを大切にし、今の時期だからこそ味わえる遊びや経験を存分に楽しんでほしいです。これまでに培った自信を土台に、より集団の中で1人1人が力を発揮してほしいと思っています。 この1年間、温かいご理解、ご協力をありがとうございました。